

令和 3年度 「校庭芝生化地域連携事業」 実施報告書

区市町村名 果 京 都 村  
青 ヶ 島 村

学校名 青ヶ島村 立 青ヶ島小中学校

1 事業目的 協議会名 青ヶ島小中学校校庭芝生化推進協議会

学校と地域が連携・協働した芝生の維持・管理及び活用等の仕組づくりを推進することを通して、子供の心身の成長・発達や地域の教育力向上を目指す。

2 主な取組と成果

学校と地域が連携して行う、年間を通した校庭緑化を推進してきたことで、青ヶ島村民の理解が進み、村民が学校に対してより協力的になったので、運動会における全参加者のよる校庭播種など、恒例行事として定着した。

昨年度はコロナウイルス感染症の影響で、校庭を使用する地域団体がほとんどいなかったが、地域のサッカークラブを筆頭に、社会教育の場として学校校庭を使用する機会が戻ってきた。また地域団体と協力して、土壌整備や播種、除草の活動などを定期的にも実施してもらうよう、地域と協働した活動を進めていきたい。

学校の児童・生徒に対しても、その日に行う作業の理由や目的をしっかりと説明したことで、目的意識をもって作業に取り組むことができ、作業日でなくとも芝に配慮が見られるようになった。また、播種のやり方を変えたことで、苗の定着率が向上した。

3 取組内容

「冬に向けてみんなで種まき！」

- ・令和3年9月26日(日)
- ・参加者45名  
(うち小中学生児童・生徒10名・学校教職員21名)
- ・運動会の閉会式後のイベントとして、参加者全員で冬芝の播種を実施。



「保護者や地域の住民による校庭整備」

- ・9月
- ・25名ほど
- ・校庭整備(播種・砂まき・種まき・砂ならし等)  
(保護者+児童・生徒+地域の有志の方+学校職員)
- ※今年度は、コロナウイルス感染症への対策として、地域のサッカークラブチームの参加は見合わせていただいた。

「子供たちによる芝生づくりと補植・手入れ」

- ・通年
- ・30名(児童8名 生徒2名 教員19名)
- ・ポット苗・プランター苗を作り補植、エアレーション、草取り
- ・作業の理由などをしっかりと説明した上で、子供も目的意識をもって取り組む。



4 今後について

・昨年度はコロナウイルス感染症の影響で、学校や村の行事等が制限され、社会教育活動も自粛となってしまうため、地域の方に来ていただくことがとても少なくなってしまう、校庭の利用も激減してしまった。今年度は、学校の行事も社会教育活動も再開されたものがあり、少しずつ利用数が増えてきている。活動量に応じて、衰退していた、村民や社会教育活動団体との連携を、また活性化していく必要がある。

・中学校の部活動で利用することも減ってしまったので、放課後に小学生が遊ぶ場として意識的に開放している。

・今年度は放課後子供教室が始まり、校庭を利用している。地域学校協働本部との連携も図っていく。

・ポット苗づくりの作業工程は、島の特異な天候に合わせたものがある程度確立できたが、大変手間がかかる。担当内で継承していくことや、費用対効果などに課題もある。